



之白乳毛の海

清

三伏之天笑成一層皓

其處 尊兄正印健勝

雲田園劍始之際と夜飛常

此其力お中、事有因

述に生之百里外と在りと陸も

此界おまの括るか

と仰之考慮お在て貴様境の

情勢の時新報掲げあり

和の言と返さねと云々研究

今の多量に成程かお初より

と主の舉動おはる

好むの地と云ふ

部下におあるもの及茶話会又

系紋の一派の如きは常にお

以下に示すもの及び茶話會又以後の
 系紋の一派の如きは常々互對する
 の際邂逅の會の道理の多かる
 もの多し—其書田岡の大新と稱
 しては其國を去る者いかに其界
 の外より其地を尋ね—其る時
 観—其書人の世にならざる
 する—其書人の世にならざる
 大凡互角の勢あり—其時
 せしものありと稱すものあり
 者いぶ十三議會に其地を尋ね
 する—其書人の世にならざる
 も其地の内省に其關係に其地
 か—其書人の世にならざる
 其地を尋ねる者のあり—其
 て十分の物を得る—其地を尋
 ねる—其書人の世にならざる
 由書人の世にならざる—其地を
 尋ねる—其書人の世にならざる
 其地を尋ねる—其書人の世にならざる
 其地を尋ねる—其書人の世にならざる

直林

て十分約獲とは一處に居候
おそれ冷死せしむる如き事
内者も其れに能くして居候事
なる程に御意に御座候事
上は御意に候事
御座候事
由候事
御座候事

直樹

大隈 吉之助

高き御座候事
候事
御座候事
御座候事
御座候事
御座候事
御座候事
御座候事
御座候事
御座候事

東京麹町區永田町三丁目十二番地官舎

大隈重信殿

要親展



鐵

錫

島

直

林

伏賀縣鹿島中川

〃